

ガイドボランティア活動記録 (平成30年)

田川朋男・高井敦雄

当園では平成13年3月24日から大温室などの温室植物を中心としたガイドボランティアを導入し、現在(平成30年12月現在)54名が活動中である。前号(第39号)に続いて、その後の活動や進展について報告する。

導入の経緯については平成13年度栽培記録(第23号)に記している。

ガイド活動は定期ガイドとして大温室、ベゴニア温室、熱帯スイレン温室などの温室と屋外の花の進化園、ロックガーデンを毎週土・日曜日と祝日に、また、季節に応じてサクラやバラ、ハナショウブ、アジサイ、カエデなどを案内した。このほかに依頼のあった申込ガイドとして学校の自然体験学習や子供会活動、福祉施設、などの募集したサークル、観光ツアー会社などを案内した。平成30年は15,787人だった(表1)。



写真1 ガイド風景

●例会と研修

[例会]

活動の報告・協議及び植物の学習を行う例会を午前10時から12時まで6回開催した(表2)。2月の例会では、元鈴峯短期大学教授 植井 秀雄氏による「植物の生活第三回 光と植物」の講演があり、実験を交えながら話された。

4月の例会は、新年度初めの例会として、林園長からあいさつがあり、植物公園の方針、人事異動と担当場所の紹介があった。総会は、前年度の活動報告、新年度の活動計画案を提案し、承認。会の運営方法などについても協議された。後半は、大温室リニューアルオープンでシンボルツリーとしてバオバブが導入されたことから「バオバブが広島にやってきた」と言うテレビ番組のビデオを鑑賞した。

6月の例会では、6~8月の行事予定、それまでの行事の報告、研修予定などを行った。後半は栽培・展示課第二栽培・展示係 小川栽培・展示管理員による「アジサイについて」の研修を行った。



写真2 ジュニアプロジェクト カモフラージュ

表1 定期ガイド・申込ガイド実績表

年/月	日数(日)	定期ガイド※1							申込ガイド※2	合計		
		温 室		屋 外			小 計	季節の花 さんぽ				
		ベゴニア温室	大温室※3	フクシア温室※3	花の進化園	ロックガーデン						
平成29年4月～12月小計	88	1,986	1,821	2,389	1,302	1,209	4,870	13,577	372	13,949		
平成30年1月	9	172	144	209	78	79	20	702	39	741		
2月	9	161	180	214	79	156	94	884	47	931		
3月	10	150	507	285	164	295	650	2,051	84	2,135		
平成29年度合計	116	2,469	2,652	3,097	1,623	1,739	5,634	17,214	542	17,756		
平成30年4月	10	359	775	368	215	218	456	2,391	82	2,473		
5月	10	303	509	316	265	250	608	2,251	42	2,293		
6月	9	221	365	328	198	185	363	1,660	57	1,717		
7月	10	140	226	151	121	56	49	743	17	760		
8月	8	233	488	263	260	79	60	1,383	27	1,410		
9月	12	212	263	200	185	54	615	1,529	33	1,562		
10月	9	241	466	281	126	143	259	1,516	50	1,566		
11月	9	287	492	271	189	134	749	2,122	50	2,172		
12月	9	125	330	196	54	57	365	1,127	35	1,162		
平成30年合計	114	2,604	4,745	3,082	1,934	1,706	4,288	18,359	563	18,922		
平成30年度小計	86	2,121	3,914	2,374	1,613	1,176	3,524	14,722	393	15,115		
									24	813		
										15,928		

※ 平成29年の4~12月の詳細は前号(栽培記録第39号)に記したので省略した。

※1 定期ガイドは土・日の午後と祝日に実施したガイド。

※2 申込ガイドは団体から申し込みのあったガイド。 ※3 大温室は熱帯スイレン温室を、フクシア温室はサボテン温室を含む。

※4 その他はサクラ、バラ、ハナショウブ、アジサイなど特定の時期の植物案内とジュニアプロジェクト、夜間開園ガイドとした。

8月の例会では、栽培・展示課第一栽培・展示係 堀川技師による「オーストラリアの旅」の講演を行い、バオバブの導入のために現地を訪れた際の話をおこなった。

10月の例会では、管理課企画広報係 泉川技師による「特別企画展 バオバブ展」の解説を行った。展示パネルを見ながら、また展示してある実物の種や加工品を見ながら詳しく説明された。

12月の例会では、管理課企画広報係 高井課長補佐による「コンニャクの話」を行い、具体的な内容でもあり、珍しい話でもあったので、皆興味を持って聞かれていた。

●自主活動

[季節の花さんぽ]

園内の見頃の植物を案内。友の会行事の園内観察会と合同で毎月第2火曜日と第4土曜日の月2回実施し、友の会会員も多く参加した（表3）。しかし、来年度からは人気の活動ではあるが、実施しているボランティアの都合で実施が難しくなっているため、職員が引き継ぐ予定としている。

[ジュニアプロジェクト]

小学生向けの自然遊び体験「ジュニアプロジェクト」を定期に毎月第2日曜日、午前と午後の2回開催し、また、団体の申込による臨時開催も行った（表4）。

[親子植物体験教室]

子供向けのプログラムとして7月に親子植物体験教室では大温室や屋外の植物観察、ネイチャーゲームを行った。

[リース・苔玉の販売、クラフトづくり]

5月4日「みどりの日」、5日「こどもの日」と11月3日「開園記念日」にはガイドボランティアコーナーを設け、入園者に活動をアピールし、手作り苔玉・リース販売やクラフトづくりを行った。収益は大温室のベンチの購入などに当てる予定である。

[オオオニバス試乗体験会の協力]

本年は「オオオニバス試乗体験会」は熱帯スイレン温室工事のため行わなかったので、協力はなかった。

[夜間ガイドの実施]

4月、9月、12月の「夜間開園」には、夜

に開花する植物を中心に案内した。



写真3 手作り苔玉、リース等の販売

[その他]

このほかに野生植物の観察会、ガーデニングの勉強会、植物クラフトの勉強会、ランの植え替え作業、洋ラン展などの展示への協力、ロックガーデン、ログガーデンや日本庭園の作業補助などを有志が行っている。

表2 例会・研修及び自主活動

開催日	場所	例会及び研修内容	参加者数
平成29年(4月～12月)小計	(内容は植物公園栽培記録第39号に記載)	230	
2月10日(土)	植物公園講堂	例会(挨拶、連絡事項と報告)及び講習「植物の生活第三回 光と植物」 講師 元鈴峯短期大学 教授 桐井 秀雄氏	40
2月18日(日)、24日(土)	植物公園大温室	大温室リニューアルオープン前研修会	30
平成29年度合計			270
4月8日(日)	植物公園講堂	例会(挨拶、連絡事項と報告)及び講習「テレビ新広島放映ハオバブが広島にやってきた」ビデオ視聴	41
4月8日(日)	植物公園講堂	5月4日販売用リース作成	12
4月7日(土)、8日(日)、14日(土)、15日(日)	植物公園園内	花と光のページェント(夜間開園)ガイド	7
5月4日(金)	植物公園園内	苔玉、リース等販売	12
5月5日(土)	植物公園園内	こどもの日クラフト	1
6月9日(土)	植物公園講堂	例会(挨拶、連絡事項と報告)、講習 アジサイについて 講師 小川賄時職員	33
8月5日(日)	植物公園講堂	例会(挨拶、連絡事項と報告)、講義「オーストラリアの旅」講師 栽培・展示課第一栽培・展示係 堀川技師	37
9月6日(土)、9日(日)、16日(土)、17日(日)、22日(土)、23日(日)	植物公園内	花と光のページェント(夜間開園)ガイド	13
10月20日(土)	植物公園講堂	例会(挨拶、連絡事項と報告)、講義「特別企画展 バオバブ展」解説 講師 企画広報係 泉川技師	36
11月3日(土・祝)	植物公園内	開園記念日リース等販売	7
11月18日(日)	植物公園内	しものせき水族館 海鰐館ボランティア研修受け入れ	12
11月24日(土)、25日(日)、12月1日(土)、2日(日)、8日(土)、9日(日)、15日(土)、16日(日)、22日(土)、23日(日)	植物公園内	花と光のページェント(夜間開園)ガイド	6
12月9日(日)	植物公園講堂	例会(挨拶、連絡事項と報告)、講義「コンニャクについて」 講師 企画広報係 高井精佐	37
平成30年度(4月～3月)小計			293
平成30年(1月～12月)の合計			324

●組織の運営

会の運営を円滑に行うため、全体を8班に分け、各班から当番表作成や例会議事録作成など運営に関する作業に携わる人（リーダー）を選出してもらい、そのリーダーたちと植物公園事務局で調整しながら運営してきた。各班から選出されたリーダーは、4ヶ月の任期とし、奇数班と偶数班の任期を2ヶ月間ずらして、新旧のリーダーの期間を重複させ、引継を行なやすくした。会の代表が不在のまま、園事務局が会の運営を行った。なお、イベント時に行っている苔玉・リース販売などは、従来どおり中心になる人が責任者として、準備運営を自主的に行った。

表3 季節の花さんぽ実績表(平成30年)

開催日	曜日	観察テーマ(見ごろの植物)	参加者数	案内者
1月9日	火	冬の温室めぐり	15	鶴、原田、藤井、森下
1月27日	土	早春の尾根道を歩こう	24	鶴、灰田、原田、藤井、森下
2月13日	火	春一番を探しにいこう	13	原田、藤井、森下
2月24日	土	早春の花めぐり	34	原田、藤井
3月13日	火	春のミニハイキング	30	鶴、原田、藤井、森下
3月24日	土	早春の草花と早咲きの桜	54	鶴、原田、藤井、森下
4月10日	火	春いっぱい花めぐり	41	鶴、原田、藤井、森下
4月28日	土	祝リニューアル大温室を歩いてみよう	41	鶴、原田、藤井、森下
5月8日	火	新緑の樹木観察	19	鶴、原田、藤井、森下
5月26日	土	珍しい花めぐり	23	鶴、原田、藤井、森下
6月12日	火	ハナショウブの季節です!	32	鶴、原田、藤井、森下
6月23日	土	初夏の樹木観察	25	原田、森下
7月10日	火	深緑を楽しもう	10	鶴、藤井、森下
7月28日	土	真夏の花を探してみよう	7	鶴、藤井、森下
8月14日	火	初秋の樹木観察	10	藤井、森下
8月25日	土	秋の気配を感じよう	17	鶴、藤井、森下
9月11日	火	展望塔から島嶼を見よう	18	鶴、原田、藤井、森下
9月22日	土	おもしろい名前の植物	15	鶴、原田、藤井、森下
10月9日	火	どんぐりころころ観察	26	鶴、藤井、森下
10月27日	土	木の美草の実	24	鶴、原田、藤井、森下
11月13日	火	三大紅葉樹を見よう	32	鶴、原田、藤井
11月24日	土	初冬の樹木観察	18	鶴田、原田
12月11日	火	ミニハイキング 落ち葉	25	鶴、原田、藤井、森下
12月22日	土	大温室探索	10	鶴、原田、藤井、森下
平成30年(1月～12月)合計			563	

●今後の計画及び課題

- 組織の運営の協議・調整を各班から選出されたリーダーが、4ヶ月ごとに担当している。期間

表4 ジュニアプロジェクト実績表(平成30年)

開催日	内 容	参加者数	指 導 者
1月14日	【定期】カモフラージュ、カメレオングーム	20	金山、北野(孝)、北野(和)、長田、一橋、平田
2月11日	【定期】カモフラージュ、カメレオングーム	38	金山、北野(孝)、一橋、平田、呼坂
3月11日	【定期】カモフラージュ、カメレオングーム	67	金山、北野(孝)、北野(和)、平田、三浦、呼坂
4月8日	【定期】カモフラージュ、カメレオングーム	72	金山、北野(孝)、北野(和)、寺川、長田、平田、舟木、三浦、呼坂
4月19日	【臨時:湯来西小学校】カモフラージュ、カメレオングーム	17	金山、中島、椋田
5月2日	【臨時:筒瀬小学校】私は誰でしょう、うきうきピング	47	金山、北野(孝)、北野(和)、一橋、平田、三浦
5月13日	【定期】説明(大雨の為)	1	金山、北野(和)、一橋、三浦、呼坂
6月10日	【定期】カモフラージュ、カメレオングーム	38	金山、北野(孝)、北野(和)、長田、一橋、三浦
7月8日	【定期】臨時閉園のため中止	—	—
8月12日	【定期】カモフラージュ、カメレオングーム	60	金山、北野(孝)、北野(和)、一橋、平田、三浦、呼坂
9月9日	【定期】大雨警報のため中止	—	—
9月12日	【臨時:東広島市立板城小学校】カモフラージュ、カメレオングーム	75	金山、北野(孝)、北野(和)、一橋、平田、呼坂
10月3日	【臨時:三原市立沼北小学校】カモフラージュ、カメレオングーム	29	金山、北野(孝)、北野(和)、平田、呼坂
10月9日	【臨時:瀬内北小学校 3年生】カモフラージュ、カメレオングーム	61	金山、北野(孝)、北野(和)、鶴、一橋、三浦、呼坂
10月11日	【臨時:府中北小学校 2年生】カモフラージュ	65	金山、坂本、一橋、舟木、三浦
10月14日	【定期】カモフラージュ、カメレオングーム	49	金山、北野(孝)、北野(和)、長田、一橋、三浦、呼坂
11月8日	【臨時:瀬内東小学校】カモフラージュ、カメレオングーム	62	金山、長田、一橋、舟木、三浦
11月11日	【定期】カモフラージュ、カメレオングーム	65	北野(孝)、北野(和)、長田、平田
11月14日	【臨時:太田川流域振興交流会議】落ち葉のアソート	73	金山、北野(孝)、北野(和)、長田、一橋、平田、舟木
12月9日	【定期】気温が低く人が集まらなかったため中止	0	—
平成30年(1月～12月)合計			839

が短いため、負担が少ないが、メンバーが代わるたびに同じ意見、協議が繰り返されたり、全く違った意見が出ることがある。また、長期計画についての意見が出にくいのではないかと危惧している。また、メンバーが変わることにより、個人への負担は少ないが、自主運営への機運も削がれているように感じる。

- 研修・講演は、例会を中心に行なうが、ガイドボランティアの要望を受け、活動に役立つ内容にする。本年も園外研修は行わなかったが、マンネリ化がないよう園外研修なども取り入れるようにする。また、会員の中の詳しい人等が中心となった勉強会なども行えるようになればと思っている。特に通常の場所以外でのガイド(サクラ、バラ、ハナショウブ、アジサイ、紅葉など)は皆ができるようにしていきたいと思う。
- 定期ガイドは、人数が少ない日があるため、もっと活動への参加を促したりして、ルールの確認、厳格化などの定期的な指導は必要である。また、不定期ガイドの募集でも新しく加入した人の参加が少ない、参加者が限られているなど、もっと全員が活動してもらえる環境づくりやルール作りを行う必要があると感じる。
- 平成30年度はガイドボランティアの募集は行わなかったが、土日祝日の通常ガイドの活動に過不足が生じたりしているので、来年度は募集を行うこととする。また、申込ガイドの対応などで割り当てに困ることのない様ルールの厳格化など規律保持に努める必要があると感じる。